

ストップ・ザ落雷

# 弊社第1号のお客さま「牛久大仏」が、 頭上の抑制型避雷針 [PDCE] を最先端 モデル [避雷球] にバージョンアップ

浄土真宗東本願寺派 本山 東本願寺 牛久大仏（茨城県牛久市、前川昌弘 事業本部事務局統括局長 以下牛久大仏）の落雷対策に、株式会社落雷抑制システムズ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 松本敏男 以下落雷抑制システムズ）の抑制型避雷針 [PDCE] が2010年8月から導入されています。この度、製品内部の経年変化を分析・評価するため、牛久大仏の協力を得て [PDCE] を取り外し、抑制型避雷針の最先端モデルである [避雷球 - ALB] に交換しました。  
(2026年4月28日)

## PDCE設置以前は、金属製の大仏自体が避雷針の役割を果たしていた

1993年の建立以来、金属製の大仏自体がアースに接地した避雷針の役割を果たしていましたが、およそ3年に1度の頻度で落雷被害が発生。2010年にはエレベーターなど内部の電子機器が故障し、復旧に1週間を要していました。そこで、落雷抑制システムズの「落雷を寄せつけにくい」抑制型避雷針が導入され、以来、雷の直撃を受けることは無くなっていました。2010年創業の落雷抑制システムズにとって、牛久大仏は初の導入先でした。

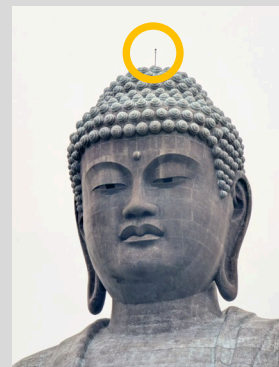
## [避雷球] は、落雷リスクを更に軽減する 二重構造の立体キャパシタ設計

[避雷球-ALB] は、落雷を寄せつける「お迎え放電」を抑える機能が [PDCE] から更に進化した機種で、2022年に落雷抑制システムズが開発しました。

牛久大仏の頭上に設置されてきた [PDCE] は、今後の製品開発のサンプルといたします。



取り外したPDCEを囲んで、  
牛久大仏の前川氏（右）と落雷抑制の松本



ブロンズ立像で世界一の  
高さを誇る牛久大仏さま  
に、この度設置された  
[避雷球-ALB (大)]



高さ約40cm、重さ約5kg。  
主要構成材料はステンレスと  
ポリカーボネート。日本製。  
日本/米国/欧州/中国で特許  
登録済

## 株式会社落雷抑制システムズとは

建物だけでなく設備も守る新型避雷針の専門メーカー。創業2010年。落雷事故を未然に防ぐソリューション「PDCE避雷球」シリーズは、日本の社会インフラ、工場、屋外スポーツ施設、イベント会場など、多様な現場の安全を支えています。知財は国内外に120件超。製品は全て日本製